

■通常事業評価シート【R5年度実施事業／市民環境部山直市民センターによる自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	学級講座等運営事業	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	市民相互の結びつきと自主的な学習活動を支援するため、学級講座等を運営する。	今年度は、新たな家庭教育学級が発足し、既存の学級と共に活発な学級運営が行われた。	5：達成した	継続	1,021	6,224	7,245	各学級・大学および登録団体の参加者の減少。	クラブ化等自主的な運営に結び付くような、魅力的な講座を開発する。また、公民館まつり等を活用し、各学級・大学および登録団体の参加者の交流や結びつきを目指す。	
2	山直市民センター管理事業	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	山直市民センターの施設機能を保持するため、施設を適切に管理する。	老朽化により劣化した多目的ホールの床面の剥離改修、およびスリップ改善を行い、施設的良好な機能を発揮するよう努めた。また、適宜、施設の故障箇所の修繕を行い、適切な維持管理を行った。	5：達成した	継続	23,761	3,275	27,036	施設の老朽化。破損箇所の増加。	施設の破損箇所を把握するとともに、老朽化に伴う大規模な改修については、計画的な修繕を行うなど施設の維持管理に努める。	
3	山直市民センター管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	課員間の事務連絡等を活発にすることで、業務の情報共有を徹底した。また、他課と関わる業務において、疑義が発生した場合には、担当課と連絡を緊密にするとともに、課員内で情報共有に繋げた。	5：達成した	継続	-	10,081	10,081	多様な市民ニーズに対応することによる、多種多様な業務の増加	電子化を利用し、効率的な業務を遂行する。	
4	サービスセンター事業	持続可能で信頼される行政になっている	市民の利便性の向上を図るため、市民の需要度の高い窓口業務を市民センターで実施する。	キャッシュレス決済を本格的に実施。市民の利便性の向上に寄与した。また、市民センターにおいて実施する窓口業務について関係課と協議を行った。	5：達成した	継続	-	14,658	14,658	市民の利便性向上を図るため、多種多様な業務の増加。	DX化に伴う業務等について、関係各課と連携し、各種手続きの利便性の向上を図るとともに、適正な業務遂行を目指す。	